

岡本眸の冬の句

年はじまる顔むけて聴く鳥の歌
初霞して文具屋の四枚戸
白粥の白のはなやぎ寒の入
寒厨の灯を消し明日は花購はむ
息白く覚めてこれより些事まみれ

松岡隆子 抽